

総額602億1,163万円に 新たに 本渡学校給食センターを整備

一般会計 補正予算

本渡学校給食センター建設用地を購入

1億7,392万円

内容

本渡地区の東町のゴルフ練習場跡地に建設する新しい本渡給食センターの用地、約7,674平方メートルを購入する。



質疑

問 この用地に決定した経緯は。
答 建設用地の選定に当たっては、市公有財産利活用・取得・処分等検討委員会において審議がなされ、場所の選定は、「利便性の向上」を第一義に考え、交通アクセスや面積等、大きく4つの要件から比較検討し決定した。

平成30年第6回定例会には、予算関連案件として、一般会計1件、特別会計7件、企業会計3件の補正予算が提出され、すべて原案どおり可決しました。
ここでは、一般会計補正予算の主な内容や予算決算委員会での質疑の内容をご紹介します。
なお、金額はすべて表示単位未満を四捨五入しています。

小学校に空調設備を整備

5億8,038万円

(うち国からの交付金1億1,492万円)

内容

学校施設的环境改善を図ることを目的に、市内の小学校17校の普通教室・特別教室等、計246室の空調設備設置工事を実施する。

質疑

問 春休み期間中に設置できないか。
答 2月から1カ月間ほど入札公告の期間を設け、3月上旬に入札・契約を行い、機器の納入期間を十分考慮し、工期を9月末までとする予定であるが、規模の小さい学校では、可能な限り夏休み前に工事を完了するようお願いしたい。



定住促進奨励金及び 空き家活用事業補助金を増額補正 600万円

内容

申請件数の増加に伴い、定住促進奨励金及び空き家活用事業補助金が不足する見込みとなったため、補正する。

質疑

問 天草市への移住者の状況について。
答 熊本県内でもトップクラスの移住者数で、東京での相談会においても、本市のブースには多くの相談者が来場しており、本年度も昨年度を上回るペースで移住者数が推移している。
※平成29年度移住者数 56世帯 106人



TOPIC 02

今年4月から 子ども医療費の助成対象 を拡大

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に拡大

内容

4月1日から、子ども医療費の助成対象を、現在の15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者から、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に拡大する。

質疑

問 4月の施行に間に合うのか。
答 1月中旬に対象者に通知、2月に申請の受け付け、そして3月中には受給者証を発行する予定。
問 市外に住居登録がなされている者を扶養している保護者への対応は。
答 本市以外に住居登録がなされている者を扶養している保護者についても、子育て支援の充実を図るため、補助要領を定め、子どもの医療費の助成を行う。



TOPIC 03

人権擁護委員の 8名の人事案件に同意

再任2名
新任6名の人事案件に同意

内容

人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める議案8件が提出され、すべて原案どおり同意しました。

氏名	住所	新任・再任
小林 一伸	北原町	新任
田中 美鈴	本渡町	新任
澤村福重郎	有明町	再任
河内 正一	有明町	新任
高田眞喜雄	倉岳町	新任
三浦とも子	五和町	新任
藤本 律子	天草町	新任
吉田 菊美	河浦町	再任

人権擁護委員とは

活動内容は、法務局と連携し、地域のみなさんから人権相談を受け、解決に向けた支援や、人権侵害の被害者救済、市民のみなさんに人権に関する意識を高めてもらうための街頭啓発活動、管内施設や保育園、小学校、企業などを訪問し実施する人権研修です。

啓発活動の取り組みの中には、花を育てることにより「命の大切さ」「相手を思いやる心」を育むことを目的として、毎年度小学校を1校選定し実施する『人権の花運動』や、中学生を対象にした『全国人権作文コンテスト』の選定があります。また、子どもたちから『子どもの人権SOSミニレター』で届けられた手紙に応じ、寄り添い、子どもたちの声を救済に結びつける活動もあります。